

## 高崎高等学校アメリカ研修 報告書（4日目）

今日もボストンは快晴、小雨、豪雨、曇り、など目まぐるしく天候が変わる一日でした。早いもので研修も4日目に入ります。

今日も午前中は英語レッスンから始まりました。昨日の日記には、周囲の留学生の英語力（というよりは発信力）や積極性に圧倒されたこと、与えられたトピックに対するディスカッションでもそもそも物事に対する考えを持ち合わせていないことを痛感したことが綴られていました。明日こそは、という決意を記す生徒が多くいましたが、恐らくは一步踏み出す自分自身との戦いが今日のレッスンでは繰り広げられていたことと思います。時間は極めて有限です。明日ではなく、今挑戦し続けて欲しいと思います。

午後はSSH、HSそれぞれ別れての活動となりました。SSHは理系の世界大学ランキングでトップを誇るマサチューセッツ工科大学（MIT）を訪問しました。ここではスペシャルゲストとして、高崎高校107期生である堀口さんにお越し頂き、キャンパスツアーと座談会を実施頂きました。堀口さんは高崎高校のSSHクラスご出身で、東大の理Iをご卒業後東大の大学院に進み、その後日本の企業に入社。今は企業、大学、医療機関（病院）の合同研究開発の使命を受け、客員研究員としてここMITで奮闘されています。SSHの生徒達はまさに正真正銘の「先輩」の登場に一気に親近感を感じつつ、MITのキャンパスを回りながらも堀口さんを取り囲んで質問攻めにしていました。ツアー後はMITの教室で座談会を実施頂くという貴重な機会も頂きました。ここでは堀口さんご自身の略歴と、今のお仕事の内容紹介や、フリーの質疑応答を行いました。生徒からは高校時代の勉強の仕方、東大に進学した理由、日本の大学とMITを比較しての違い、英語の習得についてなど様々な質問が挙がりました。理路整然と、しかしユーモラスにお答えいただくその姿は、まさにSSHが目指す人材のモデルケースそのものでした。生徒も大きな刺激を受けた様子です。

HSのアフタヌーンアクティビティーはボストン美術館に行きました。金曜日には班別自由行動も控えている事から、寮から美術館までは生徒達が先頭に地下鉄で移動しました。途中の乗換駅を探すのは簡単だったようですがすぐに見つける事が出来ましたが、その後ホームが入れ替わることを忘れていた様で美術館と真逆の方向に行くホームで電車を待っていました。もう一度地下鉄の地図を確認する様に伝えた後からは、このままでは美術館見学の時間が短くなる一方だと感じたのか、全員が声を掛けあい降りる駅や方向の確認、人数確認も率先して行い無事到着する事が出来ました。

50万点を超える展示物のあるボストン美術館ですが、予め自分の見たい美術作品を決めていた生徒が多く、約2時間という短い時間ではありましたが効率良く回れた様子でした。帰りもまた生徒達が主導となって寮まで戻ることとなりました。行きに失敗した経験を活かし乗り換えもスムーズに行う事が出来、無事に寮に帰る事が出来ると思っていた矢先に次は乗換の際の電車が非常に混んでおり全員が乗ることが出来ないというハプニングが起きました。しかし、生徒達は冷静に降りる駅を確認し合い、乗れる扉から乗る事、もし乗れない人がいれば先にのった人と待ち合わせる場所を決め事前に対処方法を考えていました。結果的には混雑の影響で3回に分けて乗ることになりましたが皆、無事に寮に戻る事が出来ました。

留学生との交流については、個人差が少しずつ大きくなってきているように感じます。日記にも、失敗を恐れて踏み出せない本音が吐露されていました。今までできなかったことを出来るようになる研修でなければ意味がありません。生徒益々の奮闘を引き続き後押しして参ります。以上、研修 4 日目の報告と致します。



【SSH】高崎高校 OB の MIT 堀口さん



【SSH】堀口さんによる MIT キャンパスツアー



【SSH】堀口さんとの座談会



【SSH】MITでの集合写真



【HS】ボストン美術館への道を確認します



【HS】ボストン美術館で集合写真



イブニングアクティビティの様子①



イブニングアクティビティの様子②